昨年の交通事故概要まとまる

死者の37パーセントが高齢者

平成六年の交通事故概要がこのほどまとまりました。これによると、昨年一年間は三千二百九十三件。おおむね市民百二十六人に一人に市内で発生した交通事故の割合で事故に遭ったことになります。事故が急増した平成五年に比べると発生件数は四百六十件、死者は七人減少しています＝表＝。しかし、死者二十七人のうち、高齢者が平成五年とかわらず十人に上り、全体の三七％を占めています。

ちょっとした不注意が大きな事故に――

交通事故発生状況

	平成6年	平成5年	増減数
発生件数	3,293件	3,753件	－460件
死者数	27人	34人	－7人
傷者数	3,845人	4,347人	－502人

一瞬の気の緩みが事故の原因

事故原因を見ると、あいかわらず安全不確認、前方不注意、指定場所一時不停止――など、運転者のちょっとした不注意が引き起こしたものが大半を占めています。発生の時間帯では、夕暮れ時がピーク。発生場所としては交差点内のみならず見通しの良い路上での衝突事故も後を絶ちません。

これらの具体的な要因としては①運転中、考えごとをしていて前の車が止まったのを確認していない②子どもなど同乗者に気をとられてのよそ見運転――など、一瞬の気の緩みが引き金になるものと考えられます。

運転者の皆さんは、交通ルールを守ることはもちろんのこと、集中力を欠くことなく、ゆとりのある運転を心がけてください。

問い合わせ 交通防災課（☎内線2422番）へ

市芸術文化振興財団

芸術文化活動へ助成

助成を受けて公演したミュージカル

市芸術文化振興財団では、七年度上期に行われる、市民の芸術文化活動への助成を二月十五日まで受け付けています。どうぞご相談ください。

助成対象事業 芸術文化活動を行っている市内の団体・個人が芸術の創造、または文化水準の向上を図るため、四月一日から九月三十日までの間に主催し実施する事業で、団体構成員に限らず、広く市民の参加を得て行われるもの。例えば、活動成果発表の事業、芸術家を招いての鑑賞会、講演会などを対象にします。ジャンルは音楽、舞踊、演劇、古典・郷土芸能、美術、文芸、映画、演芸

対象経費 会場使用料・賃貸料、舞台等製作費、通信費、広報宣伝費、印刷費、運搬・発送費、招へい旅費、講師謝礼など

助成費 対象経費の二分の一を限度として、一件二十万円を超えない範囲で助成。ただし、一回の申請で一団体一事業とします。

申し込み 二月十五日までに所定の申請書で、同財団（市役所第一分館四階☎内線2160番）へ

年間500円で助け合い

交通災害共済に加入を

交通災害共済は一年間に五百円の加入金で、交通事故に遭ったとき最高百二十万円の見舞金を支給する相互扶助制度です。

市内に居住する人なら大人から子どもまでどなたでも加入できます。

共済期間は四月一日から来年三月三十一日までの一年間。万一の事故に備え家族そろって加入ください。

共済掛金 年間一人五百円

申し込み 三月から交通防災課（市役所本館三階、地区事務所、連絡所、金融機関などで受け付けます。ま

問い合わせ 交通防災課（☎内線2424番）へ

健康百メモ

拒食症の話

多くの女性にとってスリムな体型は憧れなのでしょうが、ダイエットの目的が「やせること」になってしまい、生理が止まり、骨と皮ばかりのような体型になっても、まだ体重の増加を拒否する状態になる人がいます。

これが神経性食思不振症、いわゆる拒食症です。太ることを恐れるため、過度の食事制限、激しい運動、下剤の使用、嘔吐（おうと）などあらゆる方法を用います。この疾患は急増しており、新潟大学附属病院の初診患者はここ十年間でほぼ十倍になっています。

心理的背景としては、患者の「私は治らない。治って病気の前のみじめな自分に戻るのは嫌です」という痛切な訴えにみられるように、さまざまなレベルの不適応感、自己不全感があり、「やせるための努力」により、それらと向かい合うのを逃れている面があります。

治療は、まず行動制限療法や環境調整を行いますが、心理的問題が深い場合は「自分探し」や「育て直し」をもテーマとした本格的な精神療法が必要になります。

（市医師会）

母子家庭に交通災害共済加入金を助成

市では母子家庭の交通災害共済加入金（一人五百円）の助成を行っています。

対象 平成七年一月一日現在、市内に住所のある母子家庭のうち、中学二年生までの児童と母親（両親のいない子と祖母の家庭は祖母）です。ただし、三月三十一日までに市外へ転出する家庭は対象になりません。なお、生活保護家庭と交通遺児家庭の人は手続きは必要ありません。

申請期間 三月二十日まで

申請場所 福祉総務課（市役所本館二階）、地区事務所厚生係、連絡所

持ち物 児童扶養手当証書、ひとり親家庭等医療費助成受給者証など母子家庭であることがわかるもの

問い合わせ 福祉総務課（☎内線2604番）へ

水道管の凍結破裂に注意

水道管は気温がマイナス三度以下になると凍結し、破裂することがあります。特にビニール管の立ち上がり部分や露出した水道管は危険です。保温材を取り付けるなど予防工事をしておきましょう。

凍結した場合は蛇口を全開にしてタオルなどで覆い、ゆっくりとお湯をかけて溶かします。破裂した時は メーターボックス内の止水栓を閉めてください。

問い合わせ 東新潟の人…☎241－8771、西新潟の人…☎266－9311

社交ダンスを車いすで

車いすダンス体験パーティー

日時 2月12日①午前10時半②午後1時半③午後6時
会場 市社会福祉センター（八千代1）
内容 車いすダンスの講習会、健常者のダンスタイム、ほか
対象 車いすの人、つえ歩行の人、障害者スポーツダンスボランティア員になりたい人
問い合わせ 斎藤さん（㊋☎273-0191）へ

自然科学館

入館料 大人500円、小・中学生300円
参加費 入館料
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 同館（☎283-3331）へ ※月曜休館

◉**親と子のやさしい天文教室**
日時 2月11日午後1時半～2時半
内容 オーロラについて

◉**ハクチョウ観察会**
日時 2月5・19日午後1時半～2時半
内容 鳥屋野潟の白鳥を観察

◉**星空散歩**
日時 2月25日午後1時40分～2時20分
内容 3月の星座をプラネタリウムで散歩する

瓢湖探鳥会と野鳥保護の集い

日時 2月26日午前10時～午後3時
集合場所 水原町福祉会館
申し込み 2月12日（必着）までにはがきに住所、氏名、電話番号、車での来館か否かを記入し、県愛鳥センター（紫雲寺町藤塚浜☎0254-41-4500）へ

鳥屋野潟

バードウオッチング

日時 2月11日午後3時から
集合場所 湖南会館（長潟1）
講師 日本白鳥の会副会長・本田清さん
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 西倉さん（☎286-9474）へ

新潟交響楽団

弦楽器講習会

日時 3月5日午前9時半～午後3時
会場 音楽文化会館第10練習室
内容 バイオリン、チェロ、コントラバスの基礎技術指導とクリニック、ほか
定員 30人（応募多数の場合抽選）
申し込み 2月20日（必着）までにはがきに住所、氏名、年齢、電話番号、職業（学校名・学年）、受講希望パート、経験年数を記入し、大塚住宅建材㈱東営業所内同講習会係（下木戸3-2-32☎271-2175）へ

ほがらかバザー

日時 2月11日午前10時～午後3時
会場 ほがらか福祉作業所（山木戸2）
内容 しおり人形などの手作り作品、不用品販売、模擬店、ほか
問い合わせ 会場（☎271-5650）へ

相続登記の無料相談

期日 2月28日まで
申し込み 最寄りの司法書士事務所
問い合わせ 県司法書士会（☎228-1589）へ
※毎週水曜日午後1時半～4時には県司法書士会（古町通13）で相談に応じます

春を呼ぶ洋らん展

日時 2月11・12日午前10時～午後4時半（12日は午後4時終了）
会場 県民会館1階展示ホール
問い合わせ 坂井さん（☎267-0794）へ

會津八一の李白の世界

日時 3月26日までの午前10時～午後5時 ※月曜休館
会場 會津八一記念館（西船見町）
入館料 大人500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円
問い合わせ 同館（☎222-7612）へ

各地区スポーツ大会・教室

持ち物 屋内運動靴
問い合わせ 体育課（☎内線3276番）へ

◉**江東地区ベタンク・ユニカール教室**
日時 2月10日～3月3日毎週金曜日午後7時～8時45分 **参加費** 200円
会場 牡丹山小学校 **対象** 社会人
申し込み 各日直接会場へ

◉**西地区バウンドテニス教室**
日時 2月14日～3月14日毎週火曜日午後7時～8時45分 **参加費** 300円
会場 西総合スポーツセンター
対象 社会人
申し込み 各日直接会場へ

◉**西地区親善ソフトバレーボール大会**
日時 3月5日午前9時半から
会場 中野小屋中学校
参加費 1チーム1,000円
対象 社会人、クラブ・サークル加入者で先着20チーム
申し込み 2月18日（必着）までにチーム名、代表者名・連絡先、選手の氏名・年齢・性別を記入し真島民雄さん（大友598☎261-1594）へ

新潟歩く会

説明会

日時 2月12日午前10時～正午
会場 中央公民館
問い合わせ 林さん（☎286-7703）へ